



2026年度（令和8年度）学校教育目標

～認め合い、支え合い、挑戦する学校～ 校訓 「自主・協調・責任」

昨年度より本校の校長をしております松原成宏(まつばら しげひろ)です。新年度に入って嬉しいことがありました。それはグラウンドで活動していた運動部の生徒たちが私に元気よく挨拶をしてくれたことです。挨拶をされると言うことは、私の存在を認めてもらったという証だと私は思います。自己肯定感が高まりました。そして、私も生徒たちに大きな声で挨拶しました。

挨拶は「心の扉を開く鍵」と言われます。挨拶をしてくれた生徒たちと朝から心が通じた感じがして、とても幸せな気持ちになりました。昨年度から本校の生徒たちは気持ちの良い挨拶ができる生徒が多いと感じていました。挨拶によって心の扉が開き、生徒と教職員や生徒と生徒との心と心のつながりが強い学校づくりに昨年度以上に取り組んでまいります。

さて、今年度の学校目標は「認め合い、支え合い、挑戦する学校」です。近年、多様性という言葉が取り上げられています。一つの物事に対して、考え方や価値観も人それぞれに違いがあります。そんな違いが原因で、時には意見が対立し、うまくいかないことがあるかもしれません。でも、そんな時は対話を通して自分の意見を相手に伝え相手の意見を受け入れながら、お互いにとって最善の案を探してください。時間はかかるかもしれませんがそれがお互いを尊重し、信頼関係を築く方法だと私は思います。同じ学校という世界の中で「その人らしさ」をお互いに認め合って思いやり、あなたたち全員の良さを本校の教育活動を通して十分に発揮してほしいと願っています。そこで、そんな気持ちを込めて、学校だよりのタイトルを「桜梅桃李」にしました。この「桜梅桃李」には4つの植物の名前が付いていますがわかりますか。

桜はサクラ、梅はウメ、桃はモモ、そして李はスモモですね。この4つの植物は、「咲き方」「色」「花びらの形」「花柄」そして「満開（旬）の時期」が、それぞれ違います。例えば、桜は1本の枝にたくさんの花が咲きます。それに対して、スモモは花芽1房につき3～5個咲き、桃は、花芽1房につき2個咲きます。梅にいたっては、花芽1房につき1個しか咲きません。このように「咲き方」一つとっても、どの植物一つとして同じものはありません。皆さんもそうですね。容姿、性格、考え方、生活環境など……。

4つの植物がそれぞれに満開の時期が違うように、503名それぞれに「キラリと輝く部分＝得意分野」は違います。私は校長として、ひとり一人の「輝く部分＝個性」を尊重し大切に伸ばしていきたいし、あなたたち自身も自分の長所を伸ばしてほしいと考えています。



保護者の皆様へ

・生徒の個人情報保護をより進めるために、今年度より学年生徒名簿は配布いたしません。

なお、3月に配布した各学年の通信から変更をしています。この取り組みは明石市内全中学校でも行います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

本年も教職員一同お子様の指導に全力投球していきますのでご支援よろしくお願いいたします。